

合併10年、津山市の財政状況は



公明党
津山市議員
原 行則

行革

問 合併10年を迎え、これまで様々な行革を行ってきたが、市の財政状況は好転しているのか。

答 本市の財政状況は行革等の効果により平成26年度決算で健全化判断比率は実質公債費比率が早期健全化基準の25%に対して13・2%、将来負担比率が35・1%に対して145・1%で、全て問題はない。

市営住宅

問 市営住宅は老朽化が進んでいるところがある。高野と勝北に雇用促進住宅があるが、市が買い取って市営住宅として運営してはど



勝北の雇用促進住宅

うか。

答 雇用促進住宅は5階建てであるがエレベーターがないなど、施設改修等に大きな財政負担が伴うことや団地の地域的なバランスなどを考慮し、市営住宅施策全体の中で検討していくべき課題と考えている。

【その他の質問項目】

◆教育

一宮保育所の跡地は？



津山誠心会議
中島完一

まちづくり

問 一宮保育所跡地の今後の方針は。

答 住民ニーズの高度化・多様化や厳しい財政事情を踏まえて、現在策定している市の「公共施設マネジメント基本方針」との整合性を図りながら、貴重な



な財産を計画的かつ有効に活用するため「教育・保育施設の跡地活用方針」を現在検討しており、策定後はそれに沿って進めていきたい。

下水道整備

問 東一宮地区への公共下水道整備についての見解は。

答 東一宮地区は公共下水道の計画区域には入っているが、5年から10年の間で公共下水道の整備を行う認可区域からは外れており、今後も合併処理浄化槽設置補助を行うことにより、汚水処理の推進を継続していく。

【その他の質問項目】

◆ごみ処理行政について

グリーンヒルズ津山の今後は・青少年健全育成



清流の会
田口浩二

くらし

問 全ての世代で楽しめる公園としていくために、遊具・設備の増設並びに公園内にグラウンドゴルフ場を建設してはどうか。

答 利用者が安全で安心して長く利用できるよう改善していく。グラウンドゴルフ場の建設については、施設規模や場所の選定を含めて検討していく。

問 津山市における非行率の現状と対策は。

答 非行率は全国を上回り残念に思っている。関係機関と協力しながら地域教育や指導を強化していく。

交通安全

問 自転車による事故防止のための取り組みをするべきでは。

答 岡山県警が作成した教材を活用した学習を予定している。交通安全指導を充実させていく。



グリーンヒルズ津山 トリムの森